

学校教育目標：【自己肯定感を高め、自ら考え主体的に行動できる「けやきっ子」の育成】



けやきっ子

六栄小学校だより 第19号 令和7年9月25日(木) 文責：久保田 真二



学校ホームページ
もご覧ください

「自ら学びに向かい、考えを深め合い、自己実現を図ろうとする長洲っ子」の育成を目指して！

9月22日(月)、六栄小学校において長洲町内の幼稚園・保育園、小学校、中学校の先生方が集まって合同研修会が行われました。この合同研修会は、各園や各学校がもっと連携を深め、長洲町の子どもたちをより良く育てていこうという目的のもと開催されました。今年度から「自ら学びに向かい、考えを深め合い、自己実現を図ろうとする長洲っ子の育成」を共通テーマにして、町内の教育機関で連携しながら取り組んでいるものです。

今回は、2年生、3年生、6年生が授業を提案したのですが、子どもたちが一生懸命に学習に取り組む姿を見せることができ、他校の先生方から六栄小学校の子どもたちの頑張りを褒めていただきました。

さて、町内の教育機関ではこのような取り組みをしているのですが、共通テーマに近づくためには学校だけでは限界があります。変化の激しい予測困難な未来社会を、すべての長洲っ子が自分の良さや可能性を認識し、豊かな人生を切り拓いていくためには、家庭教育も重要な役割を果たさなければなりません。基本的生活習慣の定着、心の教育、体力の向上など、家庭教育と学校教育と社会教育が互いに連携しながら、子どもたちの教育に取り組んでいきましょう。



【2年生国語の授業風景】
読み取ったことをしっかりと発表する児童の様子



【3年生算数の授業風景】
黒板の前で、自分の考えをしっかりと発表する児童の様子



【6年生国語の授業風景】
担任の説明を聞き、しっかり考えている児童の様子



手縫いの仕方を教えていただきました・感謝

9月22日(月)長洲町婦人会の方に来校していただき、5年生の家庭科の授業で手縫いの仕方を教えていただきました。昔は、靴下の穴を縫ったり、とれたボタンをつけたりすることは各家庭でもされており、見様見真似で手縫いを覚えていったものですが、最近では、そんな機会が随分減ってきたように感じます。ですから、家庭科の授業で手縫いの指導はあるものの、指導する側は困っていました。そんな中に、長洲町婦人会の方に指導のお手伝いをしていただいたことは本当に有難く思います。今後も機会がありましたらよろしくお願ひします。



9/21～9/30 秋の全国交通安全運動 2025

- 歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進(日暮れが早くなりました。道路を横断する時は左右の確認を)
- ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進(ながらスマホをしながら自転車に乗っている児童はいないでしょうか)
- 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進(自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶりましょう)